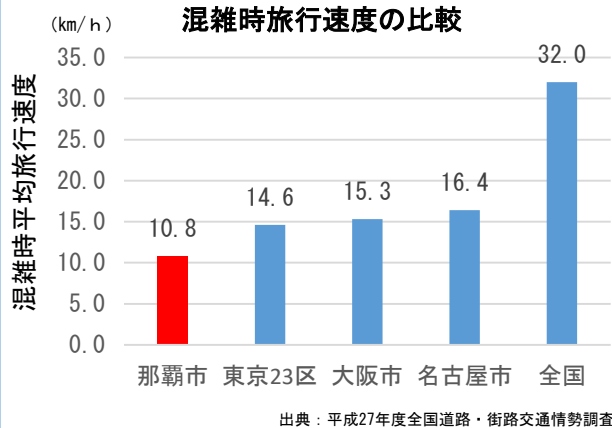


沖縄の道路渋滞対策

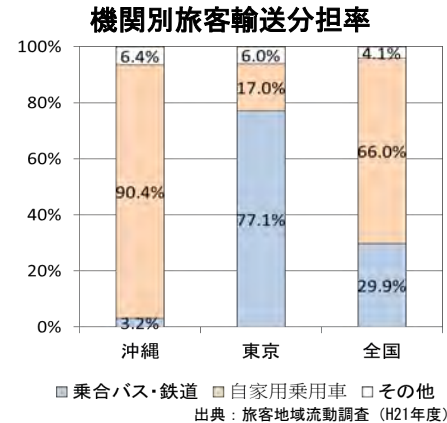
沖縄の道路交通の現状・課題とその背景

○全国ワーストクラスの渋滞



○極端なマイカー依存

自家用車：90.4%、公共交通：3.2%



○観光客の増加

観光客数 (R元年度): 約 947万人 (H24比約1.6倍)
観光収入 (R元年度): 約7,047億円 (H24比約1.8倍)

○観光客増に伴うレンタカー保有台数の増加

観光客の利用する交通手段はレンタカーが多く、
レンタカー利用は年々増加
レンタカー保有台数 (R元年度): 41,155台
(H24年度比約1.6倍)

渋滞解消に向けて取り組むべき施策

○道路ネットワークの整備 <交通容量の確保>

- ・ハシゴ道路ネットワークの整備、幹線道路網の整備
－沖縄西海岸道路、那覇空港自動車道、名護東道路 等
- ・渋滞ボトルネック箇所における交差点改良等
－主要渋滞箇所の選定、ピンポイント渋滞対策 等
- ・インターチェンジの整備促進
－スマートインターチェンジの追加整備 等

○公共交通利用の促進 <交通量の抑制>

- ・公共交通の利便性向上
－モノレール3両化、バスレーン延長 等
- ・交通結節点の整備
－胡屋地区交通結節点、てだこ浦西駅P&R 等
- ・観光客の公共交通利用促進
－分かりやすい情報提供 等

『ハシゴ道路ネットワーク』の整備

■ 南北を走る強固な【3本の柱】

【西側の柱】国道58号

【中央の柱】沖縄自動車道

【東側の柱】国道329号

■ 3本の柱を支える【東西連絡道路】

沖縄嘉手納線、宜野湾北中城線、浦添西原線など

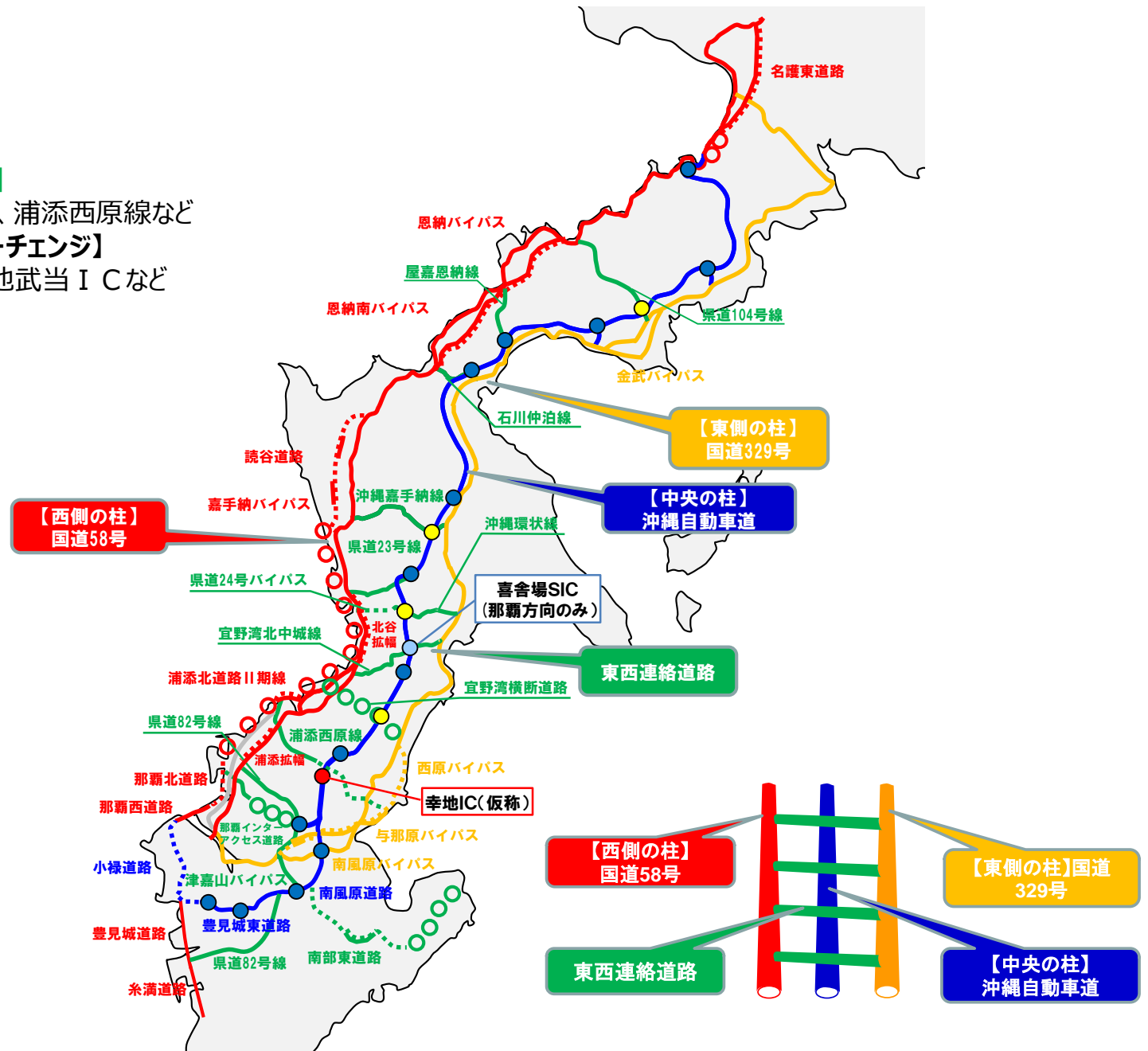
■ 高速道路を使いやすくする【インターチェンジ】

喜舎場スマートIC、幸地IC、池武当ICなど

凡例	
直轄国道 (西側の柱)	開通済み 事業実施中 計画中
直轄国道 (東側の柱)	開通済み 事業実施中 計画中
沖縄・那覇空港 自動車道 (中央の柱)	開通済み 事業実施中 計画中
地方道 (東西連絡道)	開通済み 事業実施中 計画中

※2023年4月1日時点

	: 既存IC
	: 既存SIC
	: 予定(地活・スマート)IC
	: 事業中IC



主要な道路事業

沖縄西海岸道路

- ・よみたんそん いとまんし
読谷村から糸満市に至る延長約50kmの高規格幹線道路、地域高規格道路等
- ・那覇空港・那覇港等の広域交通拠点と観光・リゾート地区を相互に連絡することにより、観光振興、地域の活性化等の地域振興を支援



国道58号 名護東道路

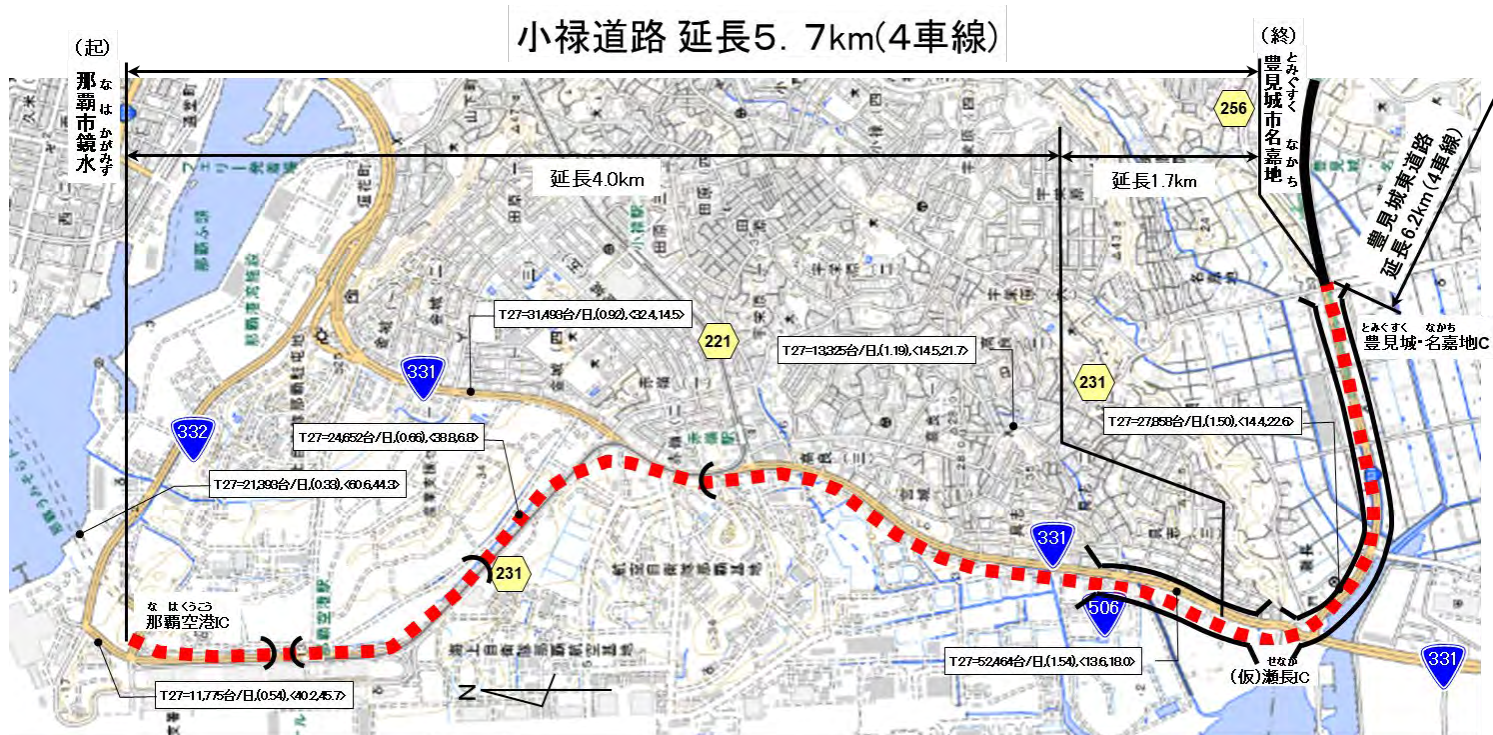
- ・沖縄自動車道 許田ICと、北部広域市町村圏(12市町村)の中心である名護市の市街地を結ぶ路線
- ・那覇空港・那覇港等の広域交通拠点と連絡することにより北部地域の活性化を支援するとともに、名護市街地の渋滞緩和を図る
- ・新広域道路交通計画において、本部方面への延伸区間が高規格道路へ位置づけられた
- ・令和3年7月31日(土)に全線開通済み(暫定2車線)



主要な道路事業

那覇空港自動車道 小禄道路 おろく

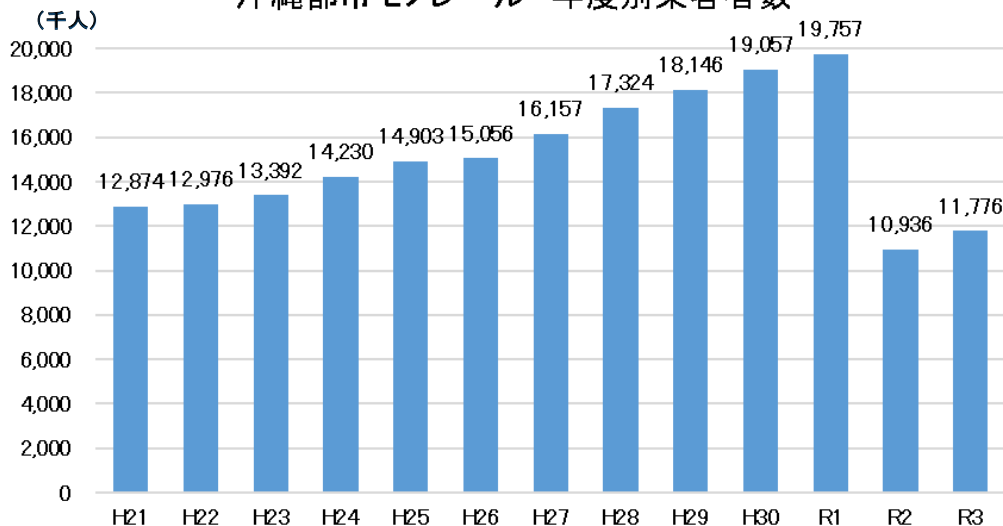
- ・那覇空港自動車道及び沖縄西海岸道路の一部を構成する道路
- ・沖縄自動車道、南風原道路、豊見城東道路と一体となって本島北部及び中南部から那覇空港間の定時性、高速性を確保するとともに都市部の交通混雑の緩和を図ることを目的とする



沖縄の交通環境改善の取り組み(モノレール3両化)

- 近年乗客数の増加が著しく、加えて路線延伸や那覇空港第二滑走路供用に伴う更なる乗客数の増加への対応が喫緊の課題。
- 輸送力を増強するため、現行の2両編成を3両編成化し、併せて運行に必要な車両基地の拡張整備等を実施。
- 令和5年度運行開始を目指す。

沖縄都市モノレール 年度別乗客者数



空から見たモノレール沿線

【沖縄都市モノレール 概要】
 ○起終点: 那覇市字鏡水～浦添市前田
 ○延長: 17.0 km
 ○駅数: 19 駅
 ○年間乗客者数: 1177万5824人 (令和3年度)
 ※延長区間が令和元年10月1日開業
 路線延長: 約4.1km (首里駅～てだご浦西駅)



- 令和5年1月・2月に1編成ずつ計2編成納入済み
- 令和5年度中に追加2編成納入予定
 ※ 合計9編成を調達予定



現車両基地

拡張部分

新車両基地完成イメージ